

性 能 受 託 試 験 結 果 報 告 書

Titan Wood BV
Indutriepark Kleefse Waard, Westervoortsedijk 73
PO Box 2147, 6802 CC Arnhem, The Netherlands
Mr. Hal Stebbins 殿

本会の木材保存剤及び保存処理木材等の性能受託試験規程により、下記のとおり性能試験の結果を添えて報告致します。

平成 22 年 8 月 26 日

(社) 日本木材保存協会
会 長



記

- | | |
|-----------|--|
| 1. 品目(用途) | Acetylated wood (exterior use, interior use) |
| 2. 試験対象物名 | Accoya (Acetylated radiata pine) |
| 3. 試験項目 | 室内耐蟻性試験 |
| 4. 試験方法 | JIS K 1571 (注入用) |
| 5. 試験機関 | (独) 森林総合研究所 |
| 6. 試験結果 | 別添のとおり |

本報告は、(社) 日本木材保存協会が受託した試験の結果を報告するものであり、試験対象物の性能が認定されたことを示すものではない。

なお、この試験結果を公表する場合は、この試験結果報告書の全文を掲げ、抄録または他の事項を添記してはならない。

以上



22 森林総研 第 433 号

試験成績書

平成 22 年 8 月 23 日

独立行政法人森林総合研究所理事長



鑑定者	木材改質研究領域 木材保存研究室 大村和香子	
鑑定年月日	平成22年 6 月 29 日 ~ 平成22年 8 月 20 日	
鑑定	住所	東京都港区虎ノ門4-2-5 第3松坂ビル8F
依頼者	氏名	社団法人日本木材保存協会 会長 今村祐嗣
提出資料		
<ul style="list-style-type: none">・アセチル化処理ラジアータパイン 外層部板材 1 体・アセチル化処理ラジアータパイン 内層部板材 1 体・無処理ラジアータパイン 板材 1 体		
依頼事項		
耐蟻性試験（強制試験）		
試験結果		
別紙のとおり		
備考	この試験結果を公表する場合は、この成績書の全文を掲げることとし、抄録または他の事項を添記してはならない。ただし、これにより難しい場合は、事前に当所とその内容について必ず打ち合わせる事。	

(別紙)

試験成績書

1. 試験の区分

耐蟻性試験 (強制試験)

2. 試験材料

依頼者がアセチル化処理を施したラジアータパイン板材から、木口 20×20×長さ 10 mm の試験体を採材し、無処理の同形状のラジアータパインも試験に供試した。なお採材箇所はラジアータパイン板材外層部と同内層部の 2箇所とし、別個に試験を行った。

コントロールとして、同形状のスギ辺材 (無処理) を供試した。

試験体① アセチル化処理ラジアータパイン 外層部

試験体② アセチル化処理ラジアータパイン 内層部

試験体③ 無処理ラジアータパイン

試験体④ コントロール：スギ辺材 (無処理)

3. 試験方法

JIS K 1571 4.3.1.1(2004) 注入処理用 の防蟻性能試験に準じて行い、アセチル化処理試験体のみ耐候操作を行ったあと、耐蟻性試験に供した。

4. 試験結果

試験結果は次表のとおりである。

なお、JIS K 1571 4.3.1.1(2004)の処理基材はスギ辺材であるが、本依頼試験の基材はラジアータパインであることから、試験体の平均密度(kg/m³)を併記した。

試験体	平均密度 (kg/m ³)	死虫率(%)				質量減少率(%)	
		平均		最大 - 最小		平均	最大 - 最小
		職蟻	兵蟻	職蟻	兵蟻		
試験体①	572	6	93	10 - 0	93 - 93	3	5 - 2
試験体②	537	6	99	15 - 2	100 - 93	3	5 - 2
試験体③	457	6	20	10 - 1	33 - 13	14	16 - 13
コントロール	290	7	27	9 - 5	40 - 20	29	36 - 22

コントロールの無処理スギ辺材試験体の平均質量減少率は 29%であり、当該試験方法の無処理試験体の性能基準である平均 15%を超えていることから、本試験は正常に機能したと考えられる。

以上